

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【公開番号】特開2017-48188(P2017-48188A)

【公開日】平成29年3月9日 (2017.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-010

【出願番号】特願2016-176561(P2016-176561)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/44 (2017.01)

A 6 1 K 31/569 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 31/569

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/14

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月5日 (2017.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

非毒性溶媒 - 水系中に溶解された少なくとも 2 つの活性化合物を含む脂質組成物であって、

非毒性溶媒 - 水系中に、

有効量のフィナステリドおよびミノキシジル；ならびに

脂質または脂質の混合物

を含み、溶解された活性化合物、および脂質または脂質の混合物を非毒性溶媒 - 水系中で一緒に混合して透明な脂質溶液を製造することにより得られる透明な脂質溶液である、前記脂質組成物。

【請求項 2】

脂質または脂質の混合物が、卵ホスファチジルコリン (EPC)、卵ホスファチジルグリセロール (EPG)、大豆ホスファチジルコリン (SPC)、水素添加大豆ホスファチジルコリン (HSPC)、ジミリストイルホスファチジルコリン (DMPC)、ジミリストイルホスファチジルグリセロール (DMPG)、ジパルミトイルホスファチジルコリン (DPPC)、ジステアロイルホスファチジルグリセロール (DSPG)、ジパルミトイルホスファチジルグリセロール (DMPG)、ホスファチジルエタノールアミン、ホスファチジルセリン、ホスファチジリンシトール、ホスファチジン酸、コレステロール (Chol)、コレステロール硫酸およびその塩 (CS)、コレステロールヘミスクシナートおよびその塩 (Chems)、コレステロールリン酸およびその塩 (CP)、コレステリルホスホコリン、ヒドロキシコレステロール誘導体、アミノコレステロール誘導体、コハク酸コレステリル、オレイン酸コレステリル、コレステロールのポリエチレングリコール誘導体 (コレステロール - PEG)、コプロスタノール、コレスタノール、コレスタン、コール酸、コルチゾール、コルチコステロン、ヒドロコルチゾン、およびカルシフェロール、ググルステロール、硫酸ググルおよびその塩、ラウリン酸ググル、長鎖もしくは短鎖、飽和もしくは不飽和の脂肪酸を含有するググルステロール、オレイン酸ググル、ミリスチン酸ググル、モノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、ガラクト脂質、マンノ脂質、ガラクトレシチンから成る群から選択される炭水化物系脂質、鎖長 $C_4 \sim C_{34}$ を有する飽和もしくは不飽和脂肪酸から成る群から選択される脂肪酸、鎖長 $C_5 \sim C_{34}$ を有する飽和もしくは不飽和アルコールから成る群から選択される長鎖アルコール、ならびにジステアロイルホスファチジルグリセロール、ジパルミトイルホスファチジルグリセロール、ジミリストイルホスファチジルグリセロール、およびジオレオイルホスファチジルグリセロールのペグ化誘導体から成る群から選択されるリン脂質のペグ化誘導体から成る群から選択される、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 3】

200 ~ 20,000 の範囲の平均分子量を有するポリエチレングリコール (PEG) をさらに含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 4】

デュタステリド、アムホテリシン B、およびタクロリムスから成る群から選択される活性化合物をさらに含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 5】

非毒性溶媒 - 水系が、少なくとも 1 つのアルコールを含み、アルコールが、エタノール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、プロピレングリコール、およびブタノールから成る群から選択される、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 6】

非毒性溶媒 - 水系が、大豆油、植物油、オリーブ油、ヤシ油、ひまわり油、アーモンド油、キャノーラ油、ゴマ油、ピーナッツ油、トウモロコシ油、およびタラ油から成る群から選択される少なくとも 1 つの油を含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 7】

投与のための好適なビヒクル中の請求項 1 に記載の脂質組成物であって、ビヒクルが、

エタノール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、プロピレングリコール、およびブタノールから成る群から選択される１つ以上の非毒性溶媒を含む水または水性緩衝液である、前記脂質組成物。

【請求項 8】

水中にフィナステリド、ミノキシジル、大豆ホスファチジルコリン、および 70 % のイソプロピルアルコールを含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 9】

プロピレングリコール中にフィナステリド、ミノキシジル、および大豆ホスファチジルコリンを含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 10】

プロピレングリコール - イソプロピルアルコール - 水の溶液中にフィナステリド、ミノキシジル、および大豆ホスファチジルコリンを含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 11】

イソプロパノールまたはエタノール中にタクロリムス、硫酸コレステリル、および大豆ホスファチジルコリンを含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。

【請求項 12】

イソプロパノールまたはエタノール中にアムホテリシン B、硫酸コレステリル、および大豆ホスファチジルコリンを含む、請求項 1 に記載の脂質組成物。